

レーダ雨量計の改良による北海道道央地域の観測精度向上等

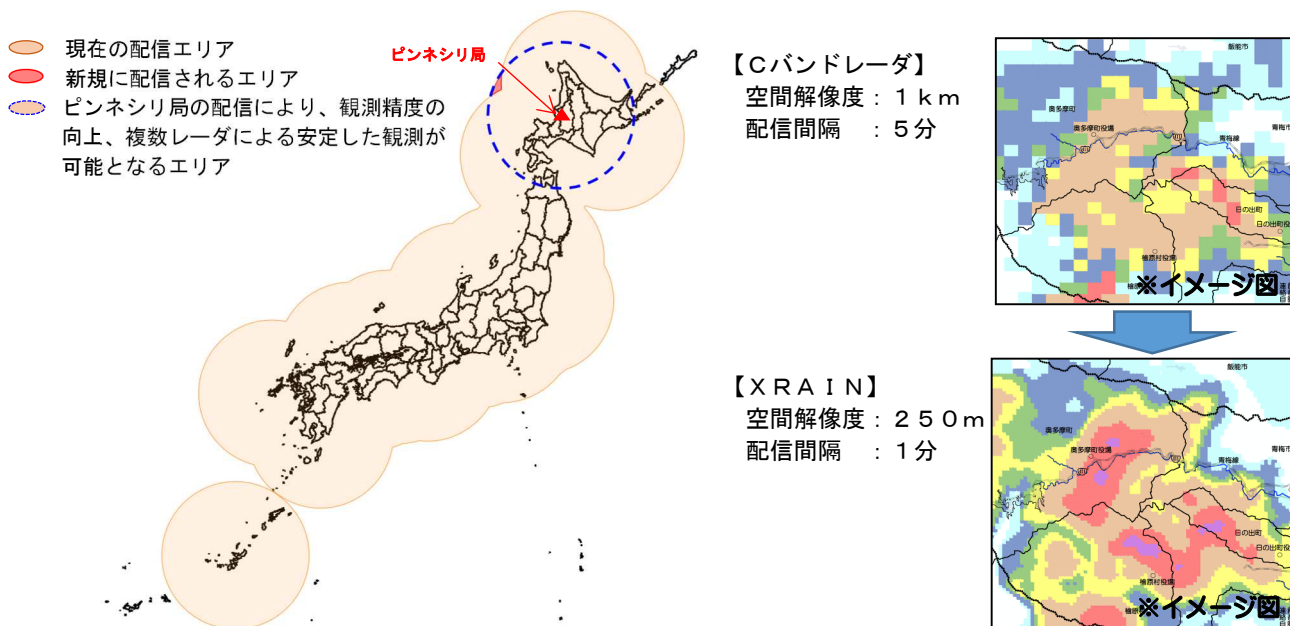
～10月27日から「川の防災情報」でピンネシリ局を加えた「XRAIN」配信～
エックスレイン

令和7年10月27日から新十津川町に位置するピンネシリCバンドレーダ雨量計の高精度・高分解能化及び今年度の降雨を用いた調整が終わり、国土交通省「川の防災情報」において「XRAIN（エックスレイン）※1」の配信を開始します。

これにより、北海道道央地域を中心とする配信エリアの観測精度向上、複数のレーダによる安定した観測が可能となります。

※1 eXtended RAdar Information Network（高性能レーダ雨量計ネットワーク）の略

降雨等により、配信日を延期する場合があります。延期する場合は、川の防災情報でお知らせいたします。【川の防災情報URL：<https://www.river.go.jp/index>】



「XRAIN」とは

従来のCバンドレーダと比べ、空間解像度が1 kmメッシュから250 mメッシュに高解像度化し、配信間隔が5分から1分になることから、近年の大雨による水害・土砂災害に対して、事前の避難行動や河川管理施設の適切な操作等の防災活動に役立ちます。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部河川管理課 水災害予報専門官 渡辺 浩司（内線 5529）

建設部河川管理課 情報企画係長 三角 一史（内線 5973）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

